

ふるさと講座・自然系 「コウモリ観察会」

別海町には1万頭を超えるコウモリが棲息していると考えられています。今回の観察場所である奥行臼駅通とその周辺にはウサギコウモリとホオヒゲコウモリが棲みつており、夜になると餌を求めて飛び立ちます。学術調査も兼ねて講師の方にコウモリの生態を解説していただきます。自由に飛び回ることのできる唯一のほ乳類であるコウモリの姿を、間近で見ませんか？

- 日 時 7月20日(水)
午後6時30分～午後8時30分(雨天決行)
- 場 所 道指定有形文化財 奥行臼駅通
(別海町奥行15番地12)
- 講 師 根室市歴史と自然の資料館
学芸主査 近藤 憲久 氏
- 内 容 ①コウモリについてお話
②コウモリの捕獲・計測・観察



- 募集人員 20名
(児童・生徒は保護者の方と一緒に参加してください。)
- 参加申込 電話・FAX・メールのいずれかにてお名前・電話番号をお知らせください。
- 受付期間 7月19日(火)まで。ただし、定員になり次第締め切ります。
- その他 ① 軍手か手袋、虫除けスプレー、ヘッドライト(お持ちでない方は懐中電灯)を持参してください。
② 当日は現地(奥行臼駅通)集合になります。車は国道沿いにある駐車場に止めてください。



サマースクール おかし、おかしのべつかい 「まが玉作りに挑戦しよう」

- 日 時 8月1日(月)・2日(火) 午後1時～3時30分
2日間行いますので、どちらか都合の良い日をお選び下さい。
- 場 所 別海町郷土資料館
- 内 容 ①お話—むかし、むかしのべつかい
②体験活動—まが玉づくり
- 募集人員 小学校以上 20名(親子参加可)
- 参加申込 電話・FAX・メールのいずれかにて、希望する日、お名前・電話番号をお知らせください。
- 受付期間 7月29日(金)まで。ただし、定員になり次第締め切ります。



ふるさと講座自然系

「西別湿原ヤチカンバ群落地を観察しよう」

～北海道指定文化財(天然記念物)指定記念～

6月26日(日)、発見者栗野武夫氏を講師に迎え、西別湿原ヤチカンバ群落地の観察会を実施しました。郷土資料館でのお話では、発見の経緯や町指定文化財に指定されるまで、現地では、指定時の実態から今後の保護への課題など、日本に2ヶ所しか自生していないヤチカンバの貴重なお話をいただきました。当日の配布資料をホームページで掲載していますのでご覧ください。



近世の別海を探る 「西別川河口から北」～その8～

カモエハウシ

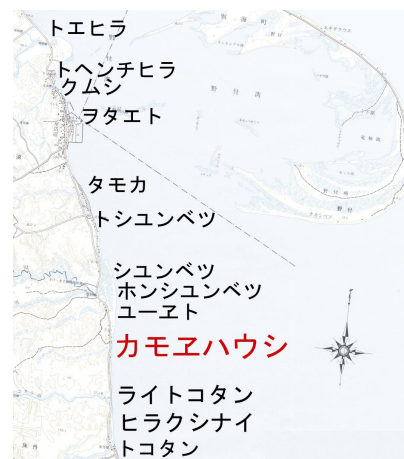
文献資料の標記は、「カモイワウシ」「イフイウシ」「カモエハウシ」「カムイワウシ」「カモイハウシ」「カモエバウシ」「カムイ パ ウシ」があります。

○地名の由来など

☆〔カムイ パ ウシ〕

・「熊ヲ見付タル処、川名、昔シ機弓ヲ置キ熊ヲ見付ケタル処ナリト云フ」

『北海道蝦夷語地名解』永田方生 明治24年(1891)



○地勢・建物など

幕府再直轄時代 安政2年(1855)～慶応3年(1867)

・「但小川有」

『丙寅慶応二年正月吉日 万覚帳 安政辰三年調〔子モロ里程〕』加賀伝蔵
安政3年(1856)

・「(小川)」

『東西蝦夷山川地理取調紀行 東蝦夷日誌』松浦武四郎 安政3年(1856)



別海町郷土資料館だより No.144

発行日 平成23年7月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

ヤチカンバ群落地の観察会を実施いたしました。講師の栗野さんのお話は、どれも深く、心に響きました。お話を聞くのは初めてではないのですが、「極める」ということは、こういうことをいうのだと思いました。(K.I)